様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 15 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	自然環境保全事業	コード	72101

2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	高橋　克実

3 事業概要				
目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
	政　策	環境保全の推進	施　策	自然環境の保全
	予算科目	自然環境保全事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		良好な自然環境を維持するため、里山の保全や水辺環境整備等を行い、水生生物や動植物が生息できる環境の維持とふれあいの機会の確保を図り、あらゆる市民が継続的な活動に取り組めるように推進する。
目的	対象者	市民
	意　図	良好な自然環境の維持と環境教育の推進を図る。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

〇こどもエコクラブにおいて、小学校４年生から６年生、また、１年生から３年生の保護者同伴の児童に対て、「野鳥観察会」、「森を学ぼう」、「市内一斉気温測定」、「水生生物観察会」、「紙すき体験」、　「環境にやさしいクッキング」、「諏訪湖周クリーンセンター見学」などを実施し、環境教育を行った。
〇諏訪湖の浄化推進のため、７月１６日（土）に、１１０人が参加し、２．２ｔの諏訪湖に繁茂するヒシを除去した。

前年度の課題への対応	こどもエコクラブへの登録数を増やしていく。小学校、カルチャーセンター、地域の育成会等に呼びかけを行っていく。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	こどもエコクラブ登録数			単位　団体
実績値	4	4	4	
＊指標の説明	こどもエコクラブの登録・運営を支援し、環境教育の推進を図る。			
② 成果指標（指標名）	こどもエコクラブ延べ参加者数			単位　人
目標値	300	300	300	300
実績値	288	285	208	
達成度	96.0%	95.0%	69.3%	
＊指標の説明				
＊目標値の設定方法の説明				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	348,914	357,647	327,409	377,000
経常経費	348,914	357,647	327,409	377,000
臨時的経費	0	0	0	0
＊臨時的経費の説明				

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		3,600,000	3,600,000	3,600,000	3,600,000
正規職員の人数（人）		0.45	0.45	0.45	0.45
③ 合計コスト（①＋②）		3,948,914	3,957,647	3,927,409	3,977,000
前年度比			100.2%	99.2%	101.3%
財源内訳	一般財源	3,948,914	3,957,647	3,927,409	3,977,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明		なし			
④ 活動一単位あたりコスト		987,229	989,412	981,852	
前年度比			100.2%	99.2%	
⑤ コストに関する補足説明		なし			

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
諏訪湖浄化対策連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	142,737	142,214	141,810	142,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	142,737	142,214	141,810	142,000
	割合	40.91%	39.76%	43.31%	37.67%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**標準**

評価項目			はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比	73.0%		0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度	69.3%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） こどもエコクラブの登録団体を増やす。	
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 引き続き、小学校や地区の育成会へ呼びかけをする。	
	改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A